

歴史教育と政治

自国中心の歴史から脱却するために

日時:2022年10月23日(日) 15:00~17:30

お話し:近藤 孝弘さん

参加費:1000円

会場:wam オープンスペース(定員25名/予約制・先着順)

*オンラインは後日オンデマンド配信のみになります。

*新型コロナウイルスの感染状況によって、セミナー開催方法に変更の可能性があります。

申し込みは右記QRコードからGoogleフォームで、wam事務局にメールを
くださればURLをお送りします。会場参加のみ電話での申し込みも可能です。



戦争が始まると、自国・自民族の栄光を強調し、都合の悪い部分は無視する——。ロシアによるウクライナ侵攻に際しては、権力がいかに「歴史」を動員するのかを目の当たりにしました。日本も例外ではありません。国家の誇りに自らを同一化するよう「愛国心」を育み、外の「敵」に向けて結束力を高めて、戦争ができる国にする準備は着々と進められています。今年の「慰安婦」の用語をはじめとした歴史教科書記述への圧力は、その一環と捉えられるでしょう。

近藤孝弘さんは、教育学者として、ドイツとオーストリアを主な対象に、国際歴史教科書対話や、歴史教育と政治教育の連関について研究してきました。「歴史なしで政治を、政治なしで歴史を理解することはできない」というドイツの歴史家の言葉に象徴されるように、過去に対する認識は、現在の社会意識を反映します。高校で「歴史総合」が始まったいま、政治教育の観点から歴史教育のあり方とその課題についてお話しいたします。

こんどう・たかひろ:1963年栃木県生まれ。早稲田大学教育・総合科学学術院教授。専門は歴史教育学、政治教育学、現代ドイツ社会論。著書に『政治教育の模索 オーストリアの経験から』(名古屋大学出版会、2018)、『ドイツの政治教育 成熟した民主社会への課題』(岩波書店、2005)、『歴史教育と教科書—ドイツ、オーストリア、そして日本』(岩波ブックレット、2001年)、『国際歴史教育対話』(中公新書、1998)、編著に『東アジアの歴史制作 日中韓対話と歴史認識』(明石書店、2008)など多数。



会員になりませんか?

●友の会年会費:3,000円 ●維持会員年会費:10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次お知らせします。
維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号:00110-2-579814

口座名称:「女たちの戦争と平和人権基金」係

wam
アクティブ・ミュージアム

女たちの戦争と平和資料館
women's active museum on war and peace

開館時間:金・土・日・月 13:00~18:00
2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため閉館

休館日:火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料:18歳以上 500円
18歳未満 300円
小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051
T:03-3202-4633 F:03-3202-4634 E:wam@wam-peace.org
URL:https://wam-peace.org Twitter:@wam_peace

